

令和2（2020）年度 部局マネジメント方針

やまぐち たかよし
消防局総務部長 山口 隆義



仕事に対する基本姿勢及び部局の取り組み方針

消防局総務部長に就任し、従前とは異なる形で再び東大阪市の発展に向け取り組めることとなりました。

建設局の在籍時には「安全・安心なまちづくり」の構築に向けた各種施策を展開し、市民の皆様が「住みたくなるまちづくり」に寄与してまいりました。

消防局は、市民の皆様へ安全・安心を提供するため最前線で活動する部局であり、市民の生命・身体・財産を火災から守るという崇高な使命感のもと、日々業務に取り組んでおります。市民の皆様が生活するうえで安全・安心の構築を目指すという点では建設局と同様であり、引き続き、消防局総務部においても、市民の皆様がより安全で安心して暮らせるまちづくりに向けて、日々邁進してまいります。

令和元年度の振り返り

本市の救急件数は、超高齢社会の進展等により増加傾向にあることから、平成29年から救急隊増隊に向けて取り組み、令和元年10月に11隊目となる救急隊を西消防署に発足し、救急体制の強化を図りました。

また、地域防災力の中核を担う消防団に対しては、毎年のように地震や台風、集中豪雨等の自然災害が発生していることから、消防団が災害時により効果的な救助活動が行えるよう、救助資機材搭載型ポンプ車を団本部に配備するとともに、国庫補助金を活用し、チェーンソーやエンジンカッターを整備し、各種災害への対応力及び地域防災力の向上を図りました。

さらには、高度化する救急医療に対応するため、救急救命士の養成を行うとともに、各種研修に職員を派遣し、職員の知識と技術の向上を図り、年間を通じて人材の育成に取り組ましました。

引き続き、増加する救急需要や自然災害に対応できる体制を確立するため、ソフト・ハード両面の充実を図り、さらなる消防体制の強化に取り組んでまいります。